

Ikuhou 通信 ~12月号

令和5年11月6日発行

育宝進学塾ホームページ:<https://www.ikuhou.com>

飯能教室: ☎ 042(972)5543 ✉ hannou@ikuhou.com
入間教室: ☎ 04(2963)2376 ✉ iruma@ikuhou.com
小川教室: ☎ 0493(73)2221 ✉ ogawa@ikuhou.com
東松山教室: ☎ 0493(81)4970 ✉ higashimatsuyama@ikuhou.com
武蔵藤沢教室: ☎ 04(2902)6910 ✉ musashi-fujisawa@ikuhou.com
新所沢教室: ☎ 04(2968)6835 ✉ shintokorozawa@ikuhou.com

教室からお知らせ

期末テスト対策「理社マラソン」について

下記の日程で期末テスト対策「理社マラソン」を実施します。2学期の成績を決める重要なテストです。万全の状態で行うために参加しましょう。理社以外にも数・英も対策できます。育宝に通ってなくても参加できるイベントなので、友達にも教えてあげましょう。

11/18 (土) ・ 19 (日) ・ 26 (日)

I 部 : 10:00~12:40 II 部 : 13:00~15:40 III 部 : 16:00~18:40

中1・2 第四回 中3 第六回模擬テストについて

中1・2 第四回、中3 第六回模擬テストが11月11日(土)に実施されます。今回から中2も5教科になりますので、実施時刻をお気を付けください。万が一当日受験できない場合は11月7日(火)から事前受験が可能です。教室までお問い合わせください。

中1 16:00~18:40 中2 14:00~17:50 中3 14:00~17:50

保護者個人面談実施

10月24日(火)から保護者個人面談が実施されています。普段の授業の様子や学校の成績などをお伝えしております。また、ご家庭でのお子様の様子をお聞きし、今後の指導の参考にしたいと考えております。また、中学3年生は志望校の話を中心に面談しております。限られた時間での面談になりますので、面談後にお気づきの点等ございましたら、いつでも再面談いたしますのでご連絡ください。

12月の予定

中3正月特訓について

今年度は **12/31・1/2の2日間での実施**になります。入試に向けて自力で得点をとれるようになるプログラムになっております。全教室の生徒・講師が入間教室に集合する数少ない貴重な行事になっています。詳細は配布した案内をご覧ください。**中3生全員の参加**をお待ちしております。

12月の北辰テストについて

中3第七回の北辰が12月3日に実施されます。中3は私立高校の推薦制度を利用できるか否かを決定する最後のチャンスです。また、数学・英語に関しては学校選択問題タイプを選んで受験することもできます。しっかりと準備をしてベストを尽くしましょう。

冬期講習について

小1から高3を対象に**冬期講習**があります。中2までは夏期講習同様『**復習してしっかりと定着**』を目標に頑張ります。中3は入試前最後の総復習を行います。冬期講習の詳細については、別途配布しているパンフレット等をご覧ください。

各検定試験について - 1月分 -

今年度最後の検定試験が下記の通り実施されます。育宝進学塾は準会場になっているため、塾で申込・受検が可能になっています。年に3回と限られた機会になりますので、「入試に有利」という目先の損得でなく、『**自分を高める**』一つの手段として、目標を定め、しっかりと取り組んで欲しいと思います。

◇英語検定 1/13 実施

◇漢字検定 1/20 実施

◇数学検定 1/27 実施

お知らせ

Grow アプリ導入について

育宝進学塾では、保護者の方への連絡ツールとして「Grow アプリ」を導入します。このアプリによって、毎月の引き落とし金額の確認連絡や各種連絡等をスムーズに行えるようになっております。まだアプリのインストールがお済でない方は、インストールをお願いいたします。インストールのやり方、Grow の操作についてのご質問等は教室までお問い合わせください。

保護者様への情報コーナー

今月のテーマ：子どもの理解の仕方

落語にある「目黒のさんま」という噺は有名です。外出先で、殿様が偶然、庶民的に調理された低級なさんまを食したところ、殿様用に屋敷で調理されたさんまと比較して美味しかったところから、「さんまは目黒にかぎる」とくだる噺です。

さんまが美味しかったのは、目黒という土地ではなく、焼き立てであったことと、骨を抜いていない庶民的な調理法にあったわけですが、殿様は、その理由を目黒に紐づけたのです。きっと家来は、殿様が何を言っているのかわからなかったことでしょう。なぜ、さんまと目黒が結びつくのか……。

親子関係でよく、親から「自分の子どものことがよくわからない」とか、「子どもが何を考えているのかわからない」という訴えを聞きます。また子どもは子どもで、「親は、自分のことを少しも理解してくれない」と訴えます。

このような事態は、親も子も自分の価値観(自分の見方)、信念(思い込み)で相手を理解しようとするからおこるのです。逆に言えば、相手の価値観や信念を理解しようとしていないのです。

それはわかるけど、「子どもが話をしてくれないので、理解しようにも理解できない」という悩みもあるかもしれません。もし、そうならば、まだまだ、親が子どもを理解しようとするステージに立っていないのかもしれません。子どもが「本当に話を聞いてくれそうだ」と感じれば、話をしてくれます。だって、友達とは話をしていますよね。

そうなのです。「子どもを理解しよう」、「子どもに話をしてもらおうと思う」なら、親は時には子どもの友人のような姿勢で子どもと接し、話しやすい環境を準備することなのです。

友人だったら「へー、そうなんだ」、「それでどうしたの?」という相槌、「それは頭にくるね」という共感、「それは～したらいいんじゃない」という意見言葉(自分の個人的な意見だと相手に伝わる言い回し)などが、頻繁に行われているのではないのでしょうか。

子どもを批判したり、話を急かしたり、一方的に親の意見を押しつける等の姿勢を棚上げして、子どもに安心・安全な環境を整えれば、子どもは自由に自分の気持ちを伝えてくれるようになり、おおよそ「子どものこと」、「子どもが考えていること」を分かり合えるのです。

**このコーナーでは、保護者の方へ、
お子様との関わり方についてお伝えしていきます。**

**お近くで塾を探しているお子様や保護者様はいらっしゃいませんか??
ぜひ、育宝進学塾にご紹介ください。**

お問い合わせTEL 042-972-5543 岩崎・野平までご連絡ください。